

(様式1)

学校番号 (中036)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(浜名中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

「高めよマナー」「自治の精神」を具現化する生徒の育成を目指した活動に取り組むという目標は、校訓・教育目標や学校運営の基本方針に沿いながら、生徒の主体性を重視した目標になっている。具体的に目指す学校や生徒の姿が明確であるため、学校運営協議会として取り組む活動の方向性も明確になる目標であった。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

・今年度、校訓を「高めよマナー」に変更したことや、グランドデザインに「切磋琢磨」を追記したことなどについて校長の理念を聞き、協議会で熟議したことで理解を深め、賛同することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

・生徒が自分らしさを発揮し、自己有用感を持ち、学校生活を送ることができるようにイメージして熟議を進めることができた。それを受けた協議会として学校を支援する活動に関しては、委員共有のもと十分に話し合い、活動につなげることができた。
・ボランティア活動や職場体験の充実に向けた議論は今後、一層推進する必要がある。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

・学校ホームページ、常盤木だより、コミュニティスクールだよりで地域や保護者に情報発信を迅速に行った。さらに、委員個人で、所属する団体に声を掛けたりPTAに働きかけたりするなど地道な取り組みも行った。
・今後、どの程度、地域や保護者に学校運営協議会の活動が認知されているのか状況把握を行うことが必要である。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

・学校と地域・生徒をつながられるような具体的な活動を企画し、委員だけでなく地域住民や企業が活動に参加してもらうための広報活動について熟議を行っていく。
・学校のニーズに応じた支援活動を今後も継続するなかで、学校と地域がともに活性化するような活動内容について熟議を行っていく。